

心

JCニュース News

本誌
～心する長崎を創心する
大きな原動力のために～
Junior Chamber
International
NAGASAKI
2018

2018 1
Vol.731

創 立 / 昭和27年12月1日
承 認 / 昭和28年2月7日
認証番号 / 36番
理 事 長 / 光富 英治
会 員 数 / 136名
編 集 / 一般社団法人 長崎青年会議所 広報委員会

JCI Junior Chamber International NAGASAKI
一般社団法人 長崎青年会議所

事 務 局 / 〒850-0874 長崎市魚の町3番21号 (マリンハイツ長崎202号)
TEL 095-825-2709 FAX 095-822-5399
E-mail office@nagasaki-jc.jp

TOP NEWS

理事長・OB会会長 年頭挨拶 第66年度 理事役員・出向役員紹介

- 第65年度12月定時総会 (プレジデンシャルリリース伝達式)
- 長崎県知事・長崎市長 表敬訪問 / 諏訪神社参拝
- 第65年度 卒業式及び卒業生を送る夕べ 事業報告
- SANTA RUN IN NAGASAKI 事業報告
- 65年をプレイバック [出島ページェント]
- クラブ活動紹介 / 会員拡大だより



理事長挨拶

一般社団法人長崎青年会議所 第66代理事長

光 富 英 治



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。私は、

2018年度一般社団法人長崎青年会議所第66代理事長を仰せつかりました光富英治と申します。1年間どうぞ宜しくお願い致します。

昨年は、一般社団法人長崎青年会議所創立65周年を迎えるに当たり、記念式典・懇親会には多数のご来賓の方々、そして諸先輩方にご参加いただきまして誠に有難うございました。その中で、改めて諸先輩方の長崎に対する熱き想いを知ることができ、我々現役会員の今後の運動のための糧となることができました。又、昨年を振り返ると、長崎においては出島表門橋の130年ぶりの復活、県庁舎の移転、更には過去最高のクルーズ船の寄港など、話題に事欠かない1年でありました。しかしながらこれからの懸案事項として、九州新幹線西九州ルート問題、三菱重工長崎造船所幸町工場跡地や長崎県庁跡地の再開発問題などが挙げられ、長崎にとってこれからさらなる大きな転換を強いられると思われまます。このような変わりゆく時代の

転換期において、我々Jayceeは青年経済人として経済のことは勿論のこと、地域を取り巻く社会情勢や政治問題にも深く精通し、あらゆる多角的な視点で物事を捉え、そして問題解決を推し進めなければいけません。そのためにもまずは、メンバー一人ひとりが見識を深めて資質向上を図り、年々複雑化していく地域の諸問題をも立ち向かえる意識と実力を兼ね備え、地域を変革する運動を展開して参りたいと思ひます。

結びになりますが、2018年度は、「本気」愛する長崎を創造する大きな原動力のためにとというスローガンを掲げさせていただきました。

昨年65周年を迎え、これまでの諸先輩方の軌跡を今一度振り返り、その時代毎の想いを再認識する機会を得ることができました。そして今年新たに66年目の歩みを進めるに当たり、長崎JCとして何をすべきか、今一度立ち止まって考えなければいけません。そして5年後、10年後、そしてその先の将来的なビジョンをしっかりと見据えるためにも、我々メンバー一人ひとりがまずは自分自身と「本気」になって向き合うことで意識改革を行い、そして「本気」になって地域のこと、そして長崎に住み暮らす人々のことを想いやるのが重要です。その想いこそが、ひいては地域の人々に伝播し、更には長崎を変革する大きな原動力になると確信しております。全ては、私たちが愛するこの長崎を創造するために。

事業報告

第65年度12月定時総会 (プレジデンスチャルリース伝達式)

第65年度 総務推進委員会

種田 和彦 君



去る12月7日(木)、ホテルニュー長崎におきまして第65年度12月定時総会・プレジデンスチャルリース伝

達式が開催されました。

定時総会では吉田理事長の開会宣言後、第1号議案 第66年度事業計画書(案) 及び第2号議案 第66年度収支予算書(案) の件につき、満場一致にて承認されました。

続いて、伊藤直前理事長、吉田理事長、光富次年度理事長予定者によるバッジ授与が行われた後、プレジデンスチャルリース伝達式が執り行われ、会場は大きな感動を目の前にした会員による拍手で包まれました。

今回、司会という立場で参加させていただき誠に光栄に存じます。理事予定者の方々の熱い気持ちに胸に、今後のJC活動に取り組んでいきたいと思ひます。



OB会 会長挨拶



OB会 会長
石丸 忠 重

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはお健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年、吉田宗由理事長は「不易流行」のスローガンを掲げ、今一度原点を見つめようと提起されました。長崎JCらしさを楽しく味わいながら、ふるさと長崎や長崎JCが直面する課題に果敢にチャレンジされたことと思います。又、創立65周年記念式典並びに祝賀会には、私たちOB会員も数多く参加させていただきました、改めて歴史と伝統を感じた一年でした。

本年、光富英治理事長は「本気」を愛する長崎を創造する大きな原動力のために、このスローガンを掲げ、郷土愛を醸成し、変わりゆく長崎の未来を創造する一員としての責務を果たそうと提起されました。九州で開催されるASAPAC及び全国大会に参加する以上は実を掴み取る意欲を強く持っていたいただきたいと思えます。又、昨年の市内青年3団体との共同宣言に続き、本年はブロックとして青年6団体との調印式を行うと聞いています。同じ仲間たちが市内で、県内で連携を取り、切磋琢磨して欲しいと願っています。

会員の皆様のご活躍に大いに期待し、新年のご挨拶とさせていただきます。

広報レポート

長崎県知事・長崎市長 表敬訪問

去る1月5日（金）、光富理事長をはじめとする正副メンバーが長崎県庁と長崎市役所を訪問致しました。

長崎県庁は新年より尾上町の新庁舎となり、長崎港の景色を望む真新しい建物を興奮の面持ちで訪問しました。

中村法道県知事と面会した光富理事長は昨年度までの活動と本年度の方針について説明を行い、中村知事からは長崎JCの活動に対する期待のお言葉をいただきました。

続いて長崎市役所に田上富久市長を訪問した際には、長崎の魅力発信のため若い人の力が大切であり、「本気」でまちの活性化に取り組むことに対して歓迎する旨のお言葉をいただきました。

短い時間ではありましたが、長崎のまちのこれからに向けて有意義な意見交換をすることができました。



広報レポート

諏訪神社参拝

去る1月5日（金）、光富理事長をはじめとする正副メンバーは、中村知事、田上市長への表敬訪問と同日に、諏訪神社を参拝致しました。諏訪神社では、本年度の無事と、飛躍の一年となることを祈念致しました。

本年度のスタートに当たって厳粛な雰囲気の中、改めて気が引き締まる思いが致しました。



第66年度 理事役員 ・ 出向役員

Question

「今年、自分のココに注目してほしい！」



地域室 室長
山本 裕人 君

JCに入会して、一気におでこのラインが上がりました。
1年後、髪が増えているか、無くなっているか、付けているか、ご注目下さい。



地域室・未来室担当
副理事長
近久 宏志 君

①ラストイヤーなので、その集大成として活動する姿。
②痩せていく姿。(入会時の体重に戻します！)



未来室 室長
湯口 智 君

私の明るく元気な姿に注目して下さい。長崎の青少年を明るく元気にするために、1年間頑張ります！！



連携室担当
副理事長
峰 栄樹 君

JC 歴 12 年のキャリアを活かし、JC の良さ、悪さを少しでも変革するようにする。



第66代理事長
光富 英治 君

自分よりメンバー一人ひとりに注目して下さい！メンバー一人ひとりが本気で地域のことを想って活動することこそが、私が本気を出している証拠です！



連携室 室長
赤瀬 直樹 君

どんな修練が待ちうけようとも連携室は楽しそうと思われるような雰囲気をバンバン出していきます！なんとかなる！！



会員室担当
副理事長
西野 啓至 君

今年度はラストイヤーですので、副理事長、日本出向、ブロック出向の3本柱を楽しみながら本気で取り組み、メンバーの皆さんに様々なことを伝えて、先輩方からいただいた恩を送ります！



直前理事長
吉田 宗由 君

昨年度は大変お世話になりました。今年は光富理事長を補佐するとともに、オール長崎を具体的に実現できるように活動して参ります。ご協力宜しくお願い致します。



会員室 室長
末永敬一郎 君

人一倍大きな身体が、今年の理事を受けることで、痩せるのか？太るのか？是非、ご注目下さい。



会務室担当
副理事長
寺岡 誠三 君

自己成長に努め、本気で JC 活動に取り組むこと。そして、ゆっくりと話すようにすること。



監事
手塚雄一郎 君

本年度は、私自身ポジティブチェンジの年と捉え、熱い気持ちをもって取り組んでいきたいと思っています。



会務室 室長
岡部 真悟 君

寺岡副理事長・小柳委員長・田口委員長と上手くコミュニケーションが取れているか！



専務理事
山下 隆義 君

注目を浴びないことが小生の目標です。
委員長・事務局長・常務理事が活躍することを期待しています。



監事
峰 昇平 君

監事という役を演じきっている姿と、相方・手塚監事との仲睦まじい姿にご注目下さい。



総務委員会
委員長

伊藤 留奈 君

歴代の総務委員長のよう貫禄が出るか注目して下さい。お腹が出てきた場合はこっそり注意して下さい。



渉外委員会
委員長

溝江 琢也 君

今年の目標は、渉外委員会の委員長として一人でも多くの会員を様々な大会・会議に動員し、次も行ってみようかなと思っていたことです。個人的には体重を1年間で60キロ台にして体と心を浄化します。



総務室 室長

小野原善一郎 君

皆様の見えないところで色々とお見かけしたらお声がけ下さい……。



事務局長

馬郡 啓 君

全ての事業・大会においてサポートしながら本気で楽しめます。沢山お酒を飲んでも酔っぱらわないように頑張ります。



会員拡大委員会
委員長

山崎 祐紀 君

長崎 JC に一人でも多くの新しい仲間が増えるよう、足を使い、飛び回り、電話一本ですぐ飛んでいきます！



常務理事

山田 裕基 君

光富理事長と山下専務理事をしっかりと支え、本気の長崎 JC の下支えとなります。



公益社団法人日本青年会議所
九州地区協議会
JCブランド確立委員会 委員長

山口 知宏 君

九州地区委員長を仰せつかりました！青年会議所のブランディング推進に向けて1年間九州中を駆け巡ります！



会員開発交流委員会
委員長

当麻 葵 君

私は人前に出ると緊張して話せなくなります。今年はそれを克服したいので、皆さんご注目下さい。



地域推進委員会
委員長

深堀 祐輔 君

委員会メンバーと一緒に、どんな事業をつくりあげて、JC 活動を楽しんでいるか。



公益社団法人日本青年会議所
九州地区長崎ブロック協議会
憲法改正推進委員会 委員長

池田 光史 君

憲法の知識を深めてもらい「なるほど」「そうだったのか」と楽しみながら学べる機会をどのような形で作り上げるのかにご注目下さい。



例会委員会
委員長

小柳 真一 君

例会では、例会委員長として表舞台に立つことは考えにくいですが、1年間を通して、例会に対する考え方に注目していただきたいです。



青少年育成委員会
委員長

安中 忠司 君

委員長をさせていただくことになったので、委員会メンバーを引っ張り、協力し、事業を成し遂げるところです。



公益社団法人日本青年会議所
九州地区長崎ブロック協議会
次世代教育確立委員会 委員長

鮎川 愛 君

初の出向かつ初の委員長で不安ですが、強く、しなやかに、本気で頑張る姿を見ていただきたいなと思います！



広報委員会
委員長

田口 一男 君

どんな活動をしている団体なのか、客観的な視点で一般の方に分かりやすい広報活動を進めていきます！



協働推進委員会
委員長

馬場口匡利 君

九州地区 JC サッカー選手権大会では、最高のパフォーマンスで怒涛の盛り上がりを実現させます。

第65年度 卒業式及び卒業生を送る夕べ



第65年度 例会推進委員会
委員長 湯口 智君

あけましておめでとうございます。
去る12月22日（金）、ホテルニュー
長崎におきまして、第65年度卒業式及
び卒業生を送る夕べが開催されました。



卒業式及び卒業生を送る夕べを開催するに当たり、卒業予定者会議にご参加下さいました卒業生の皆様、誠に有難うございました。又、ご卒業おめでとうございます。

当日は、正会員の皆様で、精一杯JC活動・運動を行ってこられた卒業生の新たな門出を祝し、今後のご活躍を祈願するとともに、感謝の気持ちを込めて盛大にお祝いすることができました。この場を借りて、お礼申し上げます。本当に有難うございました。



SANTA RUN IN NAGASAKI

第65年度 65周年企画推進委員会

委員長 中村 伸一郎 君



去る12月10日(日)出島ワーフ横の三角広場にて創立65周年記念事業「SANTA RUN IN NAGASAKI」を開催させていただきました。当日は悪天候の中、一般市民290名と多くの方にご参加いただきました。また正会員も90名の動員をいただき、無事に事業を終わらせることができました。又、いただいた参加費より長崎大学病院小児病棟に12月22日(金)に病気と闘う子どもたちにプレゼントを渡してきました。サンタを見て、全身まひや闘病生活で表情が暗くなっている子どもたちの手足が動いたり、笑顔が溢れる瞬間が見られ、この事業の目的が達成されたと自負しております。ご参加いただいた全ての方に感謝すると共に、これからもこの事業が継続されることを祈念し報告とさせていただきます。



※写っている子どもたちについて、保護者の方の許諾を得たものを掲載しております



【第1回】 出島ページェント

昨年11月、出島表門橋が架けられ出島復元事業は一つの節目を迎えました。先月の創立65周年記念事業「SANTA RUN IN NAGASAKI」でも表門橋の前をサンタ姿の市民が歩きましたが、かつて長崎JCが出島橋復元を打ち出し文化的・歴史的遺産である出島を再認識してもらうことを狙って事業を展開していたことをご存知でしょうか。その名も「出島ページェント」です。

第32年度(1984年)から第36年度(1988年)までの5年にわたって出島復興を起爆剤に、長崎の活性化として長崎JCが運動を展開しました。

5年にわたって連続展開されたこの運動では、長崎の観光問題や出島の魅力を再認識していただくフォーラムの開催や、長崎の再発見につながるためのウォークラリー、市民に関心をもってもらうために出島にてバザーや縁日の開催、ハタ作りやべっ甲、クジラ工芸など職人技の実演など様々な事業が開催されました。

複数年にわたり様々な事業を展開し、多い年には15,000人もの市民が直接的、又は間接的に関わる大型事業となったと記念誌で紹介されています。

出島ページェントが今回の表門橋架橋にどれほどの影響を与えたかは推し測ることは難しいですが、長崎JCが出島にスポットライトを当て活動していたことは記憶に留めておきたいものです。



出島に虹のかけ橋を



クラブ活動

じゃがいも倶楽部

第66年度代表幹事 田崎 康介 君

今年度、歴史あるじゃがいも倶楽部の代表幹事を務めさせていただきます。田崎と申します。じゃがいも倶楽部はゴルフを通じて現役会員はもちろん、特別会員の皆様との交流を深めることができる最強のクラブです！経験者の方はもちろん、クラブを握ったことがない方も大歓迎です！皆様のご参加お待ちしております!! ちなみにじゃがいも倶楽部の名前の由来は、芋掘りゴルフからJCにもじってJagaimoClub (= JC) らしいですよ (^_^)



クラブ活動

長崎ブロック建設クラブ

第66年度クラブ代表 尾崎 光輝 君

新春の候、皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。私たち、建設クラブは日頃より、ビジネスを中心とした社会貢献活動を行っております。近年、クラブ会員が減少傾向にあることもあり、本年度は年初から拡大活動に力を入れたいと考えております。皆様お声がけをさせていただいた際には、ビジネスチャンスだと思っ是非ご入会を宜しくお願い致します。



クラブ活動

茶道同好会 長崎青松会

副会長 野田 剛士 君

長崎 JC 唯一の文化部、長崎青松会は今年 12 年目を迎え、月 1 回楽しくお稽古をしています。今年度は藤村会長のもと、8 月に裏千家の大宗匠（前家元）をお迎えし、「平和を祈念する献茶式」を開催する予定です。こんな凄い経験、長崎 JC 茶道部でしか絶対にできません！入会希望の方は気軽に声を掛けて下さいね。お待ちしております！



クラブ活動

サッカー部

キャプテン 赤瀬 直樹 君

サッカー日和の今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、今年度はいよいよ九州地区 JC サッカー選手権大会 in 長崎が開催されます。昨年は V・ファーレン長崎が見事に J1 昇格となりました。長崎 JC サッカー部も負けてはいられません！ルールを覚え、基礎から見つめ直し、練習に練習を重ね、新たなフォーメーションを身につけてホームでの優勝を目指したいと思います！温かい声援を宜しくお願い致します!!



クラブ活動

野球部

第65年度幹事 磯 一太郎 君

とっても寒かった昨年 12 月 1 日にビッグ N にて毎年恒例の卒業試合が行われました。今年の卒業生は濱村監督、小野川選手、猪村選手、堀田選手の 4 名でした。当日は野球部 OB と対戦しましたが、日頃の練習不足が伴い野球部 OB の圧勝でした。先輩方から「頼むぞ！現役！ちゃんと野球せんば！」と叱咤激励もいただきました。その後の懇親会では新監督に山本智昭君が就任し、来年の野球部の飛躍を誓いました。



会員拡大だより

会員拡大委員会

委員長 山崎 祐紀 君



今年度の正会員数は 136 名と、近年でも少ない人数でのスタートです。1 人でも多くの新しい仲間を増やすためには、誰かがやってくれる会員拡大活動という考え方ではなく、全会員が当事者意識を持って、会員拡大活動の意義・目的を十分に理解し、推し進めていかなければいけません。我々がこれまで先輩方から受け継がれてきた JC 運動を継承し、「明るい豊かな長崎の実現」への礎となるよう本気になって会員拡大活動に取り組みしましょう。会員拡大委員会としましては、全力でサポートしていきます。